

**させほ夢大学**

発行●公益社団法人 させほ夢大学  
編集委員会  
事務局／〒857-0863  
長崎県佐世保市三浦町4-30・松蔵ビル3F  
TEL.0956-25-9555 FAX.0956-25-9545  
https://www.yumedai.com/  
E-mail:sasebo\_yumedai@yahoo.co.jp

開催ご案内 25-9556

# 夢のつづき

## させほ夢大学会報

No.324 <2023・4>

令和5年度  
第1回

2023年 4月20日(木)

アルカスSASEBO 大ホール

開 場 17:30

開講式 18:00

講 演 18:30(終了20:00)

令和5年度のトップバッターは、日本の未来に大きな影響を及ぼすことは間違いない「中国」についての専門家 興梠一郎さんです。

興梠さんは、九州大学経済学部を卒業後、三菱商事の中国チームで活躍した元商社マンです。商社マンとしてビジネスを通じて中国を知るにつれ、もっと深く知りたいと研究の道を選ばれました。

カリフォルニア大学バークレー校修士課程、東京外語大学修士課程を修了され、その後、外務省専門調査員(香港総領事館)、同省国際情報局分析第2課専門分析員、参議院第1特別調査室客員調査員を歴任されました。まさにビジネスと外交の現場、そして学術とい



う三つの領域を経験された中国ウォッチングの第一人者です。現在、神田外語大学教授を務めておられます。

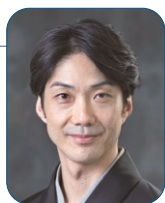
主著は、『現代中国 グローバル化のなかで』(岩波新書)、『中国激流 13億のゆくえ』(岩波新書)、『中国 巨大国家の底流』(文藝春秋)等多数。

中国の実態は、政府が統制する公式報道や、学術資料だけではわかりません。中国の最新事情からネット裏情報までの収集・分析をする気鋭の専門家 興梠一郎さんに、中国はどこに向かうのか、習近平体制の現状と課題を示していただけると思います。ぜひご期待ください!

講 師 ● 神田外語大学教授 こうろぎ いちろう 興梠 一郎氏

テーマ・中国はどこに向かうのか

— 習近平体制の現状と課題 —



次回のご案内

■と き／5月18日(木) 18:30~20:00

■講 師／狂言師 のむら まんさい 野村 萬斎氏

■テーマ／この辺りの者でござる  
— 狂言のダイバーシティ&インクルージョン+SDGs

●東京都出身。狂言師で重要無形文化財総合指定者。東京藝術大学卒。祖父・6世野村万蔵及び父・野村万作に師事し、3歳で初舞台を踏む。文化庁芸術家在外研究生として英国へ留学し、名門ロイヤル・シェイクスピア・カンパニーなどで学ぶ。帰国後は多数の公演に参加し狂言の普及に貢献する一方、映画・TV・ストレートプレイなど幅広い分野で活躍。銀幕デビューは黒澤明監督の「乱」「陰陽師」「のぼうの城」などに出演する。TVでは、NHKの大河ドラマ「花の乱」「どうする家康」、朝の連続テレビ小説「あぐり」などに出演している。

4月の講演会は第3木曜日です。

興梠 一郎 氏のプロフィール

●大分県出身。九州大学経済学部卒。三菱商事中国チームを経て、カリフォルニア大学バークレー校大学院修士課程修了。神田外語大学教授。中国ウォッチングの第一人者で中国の最新事情からネット裏情報までの収集・分析をする気鋭の専門家。外務省専門調査員、分析員を歴任。



## 九十九島

## ふもやま話

1

## 佐世保市の市木 ハナミズキ

しはた 柴田 昭隆

ハナミズキは、四月から五月ごろに白やピンクの花を咲かせ、あたりの雰囲気をも明るくする。枝はほぼ水平に伸びて樹形がよい。秋には紅葉し、冬にかけては艶のある赤い実が楽しめる。ハナミズキは、日米親善の樹木として日本がアメリカへ贈った桜の苗木に対する返礼として大正時代に渡された。

北アメリカ原産のハナミズキは、国際都市を目指す佐世保市のイメージを引き立たせるにふさわしい樹木であるとして、一九八九年（平成一）五月に佐世保市の市木として選定された。それから三十数年になるが、街路樹としてのハナミズキを見かけるのは、玉屋デパート前の通り、佐世保川沿いの通り、佐世保公園・ニ

ミッツパークぐらいいである。街路樹は、都市景観を形づくる重要な要素の一つである。街路樹は、無機質なビル街の中に緑の空気を吹き込み、オアシスのような潤いをもたらしてくれる。春には芽吹く緑が心地よく、夏は木立にたたずめば暑さが和らぐ。秋には紅葉や黄葉が美しい。

このように四季を彩る街路樹には落葉広葉樹が選ばれていることが多い。しかし、落葉に滑って転倒する危険があるし、落葉が側溝をふさぐ等の苦情の原因となる。そのため、イチヨウは、葉が黄色に色づく秋には早々に枝を切られて黄葉を愛でる余裕がない。枝を切られて裸になったプラタナスは、毎年剪定（せんてい）された痕（あと）がこぶになり痛々しい。

全国では、市や町を代表する並木づくりに関心を寄せるところが増えてきている。都市を代表する街路樹として植えられている種類を多い順に挙げると、ケヤキ、イチヨウ、クスノキ、サクラ、ハナミズキなどである。市内にも美しいサクラ並木が随所にあつたが数えるほどになった。旧海軍鎮守府周りの堂々たるクスノキ

の並木は西九州道路の高架がその景観を邪魔している。近年、街路樹として全国に植えられているハナミズキは三三万本。新興住宅地、再開発された街に多く植えられた。ハナミズキは、あまり大きくならないので狭い街路でも植えることが出来る。成長が遅く剪定をしなくても整った樹形を保つ。落葉の量が少ない。害虫もあまりつかず管理に手間がかからないなどの理由で人気があるのだそうだ。

佐世保市の樹木としてハナミズキを選んだのだから、佐世保市を代表するハナミズキの並木をつくったらどうだろうか。今一度、佐世保の自慢となる並木が出来てくれることを夢見ている。



ニミッツパークのハナミズキ

## ～ご来場時の注意事項とお願い～

- 4月20日(木)の講演会は、1日1回講演です。
- ご入場の際は、手指消毒・検温にご協力ください。体調の悪い方は入場をご遠慮ください。
- できるだけ不織布マスクを着用し、会話は控えてください。
- 学生ご本人が欠席で代理出席の場合も、必ず、学生証をご持参ください。
- 開演5分前から1階席には入場できません。
- 席取りはご遠慮ください。
- 携帯電話等の各種電子機器は、電源を確実にお切りください。
- アルカスSASEBO大ホールの空調は、部分的な調整ができません。できる限りの対応をしていますが、フロア及び座席の位置によってはかなりの温度差があります。十分な準備をされた上でご出席ください。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況や講師の都合、天災その他不測の事態により、開催日時の変更や延期、または講師を変更して代替開催する場合があります。

## 令和5年度(第32期)講演会予定

令和5年

- 5月18日(木) 野村 萬斎氏 (狂言師)  
18:30～20:00 『この辺りの者でござる—狂言のタイパシティ&インクルージョン+SDGs』
- 6月15日(木) 門田 隆将氏 (作家)  
18:30～20:00 『時代を読み解く』
- 7月20日(木) 中林 美恵子氏 (早稲田大学教授)  
18:30～20:00 『激変する国際情勢と日本の課題』
- 8月17日(木) 小林 弘幸氏 (順天堂大学教授)  
18:30～20:00 『健康になる7つの習慣—健康は自律神経のバランスで決まる—』
- 9月18日(月・祝) 元谷 美美子氏 (アパホテルグループ社長)  
14:30～16:00 『私が社長です。』
- 10月19日(木) 三遊亭 好楽氏 (落語家)  
18:30～20:00 『人生好んで楽しもう』
- 11月16日(木) 由紀さおり氏 (歌手)・安田祥子氏 (音楽家)  
18:30～20:00 『童謡コンサート』
- 12月14日(木) 千田 嘉博氏 (奈良大学教授)  
18:30～20:00 『徳川家康と天下人の城』

令和6年

- 1月11日(木) 野村 宏忠氏 (柔道家)  
18:30～20:00 『折れない心』

講演を聴かれた感想をお待ちしています！ 500字程度にまとめて、メール・郵便・FAXのいずれかにて、させば夢大学事務局までお送りください。締め切りは4月26日(水)必着です。こちらからも送れます➡

